

令和 年度就学援助費受給申請書 (兼収入額, 需要額調書)

次の理由により就学援助費の支給を受けたいので申請します。(学校経由のこと)

令和 年 月 日

申請(保護)者	住所	板野町		学校名	板野 学校		性別	住宅の形態				
	氏名	Ⓢ	電話	児童・生徒名	年 組			(1) 持家 (4) その他 (具体的に)				
					年 組			(2) 借家				
				年 組			(3) 借間					
世帯の状況(児童・生徒・本人も含む)	氏名	世帯主との続柄	性別	生年月日	年齢	職業(勤務先, 学校名)	同居の有無	病気療養の有無(期間)	所得額	教育費(給食費含む)	生活扶助第1類	生活扶助第2類
	1			・	・							c
	2			・	・							
	3			・	・							母子加算
	4			・	・							d
	5			・	・							需要額(a~dの合計) e
	6			・	・							
	7				・	・				f	a	b
合計	世帯人員 名							所得額	f	=		
								需要額	e			
申請の理由(該当項目に○印)	1. 前年度又は当該年度に						2. 1.以外の者で次に該当する者					
	ア 生活保護の停止又は廃止を受けた イ 町民税の減免を受けた ウ 町民税は非課税となっている エ 個人事業税の減免を受けた オ 固定資産税の減免を受けた カ 国民年金の掛金の減免を受けた キ 国民健康保険税の減免又は、徴収猶予を受けた ク 児童扶養手当法に基づく手当の支給を受けた ケ 世帯更正貸付金の貸付を受けている						ア 失業対策事業適格者手帳を持っている イ 日雇い労働者として職安に登録している 3. その他 (具体的に記入して下さい)					
							認否欄					
							令和 年 月 日 認定 否					
							就学援助費の受け取り方法 (希望の欄に○印をして下さい)					
							1. 学校長に委任する					
							2. 口座振込					
							(銀行 支店)					
							口座番号					

(注) 裏面の記入の手引きをよく読んで記入してください。(太線の中は記入しないでください)

※ 申請書記入の手引

1. この申請書の太線の中は記入しないようにしてください。
2. この申請書を提出されますと内容を調査して認否を決定します。
3. 「住所欄」は、番地まで、住宅名、同居先名などを記入してください。
4. 「児童・生徒欄」は、兄弟姉妹が同じ学校に通学している場合には、全部の者を記入してください。
したがって、2人以上の児童生徒が同じ学校に通学している場合は、この申請書は1枚で結構です。
(新しい年度の学年を記入してください。ただし、学期途中の申請はこの限りでない)
小学校、中学校は別々に申請してください。
5. 「世帯状況欄」は
 - (1) 現在生計をともにしている方、全員を記入してください。
 - (2) 「勤務先」は所在地及びその名称を、また「学校名」は、**〇〇小1年**のように、記入してください。
(年齢・学年は4月1日現在で記入してください)
6. 「申請の理由欄」は、該当する番号、記号に○印をつけてください。
3番の理由に○印をつけた方は、その理由を、くわしく記入してください。
申請理由の記入のない方については、認定しかねる場合がありますので理由は必ず記入してください。
7. 世帯全員の所得が必要なので所得を有する者のうち、給与所得者については、勤務先（事業所）の源泉徴収票の写し添付してください。
8. その他、【就学援助費の受給手続について】も参照してください。